

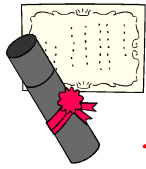
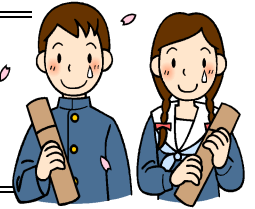
志賀中Today

学校教育目標：心ひらき つながり 高め合える生徒の育成

志賀中学校だより
令和3年 3月15日発行
卒業号 生徒数：605名
文責：校長 竹橋 清隆

志賀中学校 生徒の行動目標

あいさつ いのち のびのび しんせつ がっつ



ご卒業おめでとうございます

173名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

いよいよ、四月からはそれぞれに夢と希望をもって、選んだ道を進んでいくわけですが、その未来が、順風満帆に追い風を受けて、自分の思い通りに事が運ぶわけではありません。みなさんは、これから激動する社会の大きな波を、乗り越えていかねばなりません。困難と闘いながらも、これからの厳しい時代を生き抜き、輝く未来をつくるために、三つのことを話します。



一つ目は「節目を大切にしてほしい」ということです。竹には高く伸びるために、節があります。節が大きければ大きいほど、その後強く高く伸びる可能性が出てきます。皆さんは、この一年、本当に大きな節を作りました。この節には大きな力が蓄えられています。その力をこれからのエネルギーとして活用するために、卒業を節目にそれぞれの進路に決意を新たに、意識を変えて進んでいってください。これから先々、失敗したり、困難に行き詰まったりと、予想していない事態に直面した時は、その事から逃げることなく立ち向かい解決することで、大きな節をいくつも作って力強く成長していってください。



二つ目は、「人とのつながりを大切にしてほしい」ということです。人間は人とのつながりの中でしか、幸せをつかむことができません。人は一人では生きていけません。私たちは、あらゆる困難や問題を解決するとき、周りの人に相談したり、話し合ったり、助け合ったりします。相手の立場に立って物事を考えられる人は、これから先、学校で、職場で、地域で、家庭で多くの人とつながることができるはずです。今、携帯やSNSなどのつながりもありますが、直接顔を見合わせて言葉を交わすことが大切です。あいさつをする、返事をする、お礼を言うなど、「感謝する心」「お互いを思いやる心」を言葉にして伝えることで、人とつながることができ、自分の人生を変えることにもつながるのです。



三つ目は、「時・時間を大切にしてほしい」ということです。時も時間も取り返しがきかないものです。過去に戻ることはできません。今やらなければならないこと、今しかできないこと、今だからこそやれることを選択して取り組んでほしいと思います。また、時間は誰にでも平等に与えられていますが、減ることはあっても増やすことはできません。自分の意志で、自分の時間を使うとともに、人の時間を奪うことのないように人とのかわりの中では気を付けていってください。卒業生の皆さん、夢の実現に向けて邁進してください。

【式辞から抜粋】

＝保護者・ご家族の皆様へ＝

保護者の皆様、九年間の義務教育を本日修了されるお子様の晴れ姿を目の前にされ、感激もひとしおのことと存じます。謹んでお祝い申し上げます。この三年間、本校教育活動に、多大なるご理解・ご協力賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。お子様は次のステージへと力強い一歩を踏み出されます。とはいえ、まだまだ悩み多き年頃、温かい家族関係の中で見守り、励まし、お支えいただきたいと存じます。私ども教職員一同、お子様の成長とご活躍を心からご祈念申し上げます。

